

(ご参考：5/6) 経済関係ニュースレター（在シアトル総領事館）

ワシントン州日系企業・団体・レストラン関係者の皆様

在シアトル日本国総領事館経済班です。

本ニュースレターでは、当地の日系企業・団体、レストラン関係者の皆さまを含む在留邦人の方々へ、当地経済や日米関係等のニュースを「経済関係ニュースレター」として配信するものです。今後はパンデミック関係のニュースは減ってくると思われますので、もし今後の配信を希望されない場合は、件名に「ニュースレター配信解除」と記入の上、こちらまでメールを返送ください。

本日の参考情報を以下のとおりお知らせします。

このニュースレターでは、多くの方にご利用いただける有益な情報の提供があった場合、情報元を示して掲示しています。なお、このことは、総領事館として、情報元の団体・個人をいかなる意味でも宣伝・推薦するものではないことを申し添えます。

本ニュースレターを追加で受け取りたい方が周りにいらっしゃいましたら、[こちらの登録フォーム](#)をご紹介ください。また、当地日系企業等に周知できる有益な情報などございましたらお知らせください。館内で確認し、公平・中立の観点から適切なものを本ニュースレター等で共有させていただきます。

在シアトル総領事館では別途、月2回の英語ニュースレター"From Japan to the Northwest"を配信しています。こちらでは日本に関する政治・外交等の情報や当館の活動などを発信しています。登録及び過去のアーカイブは[こちら](#)から。

1. 経済再開、地域経済関連ニュース

(1) 萩生田経産相、米国と半導体サプライチェーンなどで協力を確認

訪米した萩生田光一経済産業相は5月4日、米国のジーナ・レモンド商務長官、キャサリン・タイ通商代表部 (USTR) 代表、ジェニファー・グランホルム・エネルギー長官らとそれぞれ会談した。

レモンド商務長官とは、2021年11月に設立に合意した「日米商務・産業パートナーシップ

(JUCIP)」(2021年11月15日記事参照)の第1回閣僚級会合を開催した。米商務省と経済産業省が発表した[ファクトシート](#)によると、両氏は、JUCIPの下での継続的な協力と具体的な成果が日米経済政策協議委員会(経済版2プラス2)の礎になるとの認識で一致した。両氏は半導体、輸出管理などの分野における日米協力の進展と今後について議論した。[半導体分野では、「半導体協力基本原則」を共同策定](#)した。同原則の下、半導体製造能力の多様化や透明性の向上、有事の際の対応、半導体研究開発と労働力開発など、[サプライチェーン強化に係る協力を進める](#)。また、輸出管理の分野では、[輸出管理協力に関する協力計画を共同策定](#)した。現在および今後あり得る輸出管理制度の動向、機微なデュアルユース技術、深刻な人権侵害に利用され得る先端技術に関する協力を強化する。また、[ロシアのウクライナ侵攻を踏まえた対ロシア制裁での協力にも言及](#)した。(6日付け[ジェットロビジネス短信](#))

(2) アマゾン 収益の大幅な減少

[アマゾン社は、2022年第一四半期の最終損益が38億ドルだったことを発表](#)した。アンディ・ジャシー最高経営責任者はパンデミック及びウクライナ情勢の影響としているが、シアトルタイムズは、減益の多くは、電気トラック製造のRivian社への投資と同社の価値の下落に関係していると報じている。アマゾンは2021年第一四半期に81億ドルの収益を上げ、過去1年の売上高は1,164億ドルとなっており、7.3パーセントの増加である。Eコマース・ビジネスについては、過去2年で23パーセント増となっている。同社は運送ネットワークや従業員数を2倍にしたことにより、現在の倉庫のキャパシティーは必要以上にあるが、今後は生産性を改善し、コストを減らすことに集中する予定。(28日付け[シアトルタイムズ記事](#))

(3) 中絶に関する最高裁判決草案 ワシントン州の政治家の反応

女性の人工中絶を認めた1973年の「ロー対ウェイド」事件に対する判決を覆す内容の最高裁判決草案が外部に流出した件について、インズリー知事を含めた民主党の政治家が、シアトルで開かれた集会に参加した。[3日付けシアトルタイムズ記事](#)では、仮に今回、同判決が覆ったとしても、ワシントン州をはじめ中絶が法律で認められている州では合法であり続けるが、アイダホ州などの保守的な州では禁止となる可能性があり、そのような場合、合法的な中絶を求めて一部の人がワシントン州へ渡航することが予想されると報じている。

(4) ORCA カードのシステム変更

[交通機関で利用できるORCA\(オルカ\)カードのシステムが5月16日にアップデート](#)される。[アップデートにあたり、一部の利用者は新しくオンライン支払いアカウントをつくる必要がある](#)。今回のアップデートにより、オルカカードへの入金が即座に反映されるようになるほか、スマートフォン・アプリも新設される予定で、最終的には携帯電話から直接の料金支払い

が可能となるとしている。将来的には、駐車料金や Uber、Lyft、電動スクーターの利用や、レストラン・商店などでの支払いが可能になる予定。14日と15日はシステム変更期間として、リージョナル・トランジット・サービスによる交通機関の料金は無料となる。([2日付けシアトルタイムズ記事](#))

(5) サウンド・トランジット 料金徴収措置の緩和

シアトル大都市圏を運行しているサウンド・トランジット交通は、運賃を支払わないあるいは支払うことができない乗客に罰金を科す代わりに、より教育的な方法に変更することになっている。罰金の徴収については、特定のマイノリティーがターゲットになってきたとされている。この変更は、サウンド・トランジットを含め公共交通機関でパンデミックのため乗客と運賃収入の激減したことによるもの。サウンド・トランジットでは乗客の42パーセントが料金を支払わずに乗車していると推定されている。([28日付けシアトルタイムズ記事](#))

(6) クルーズシーズンが開始するも、新型コロナウイルスの感染が確認

シアトルーアラスカのクルーズシーズンが始まって数日が経ったが、3日にシアトルに到着した Carnival Cruise Lines の船では、乗組員の間で新型コロナウイルス感染が広まったことが確認されている。([4日付けシアトルタイムズ記事](#))

(7) ワシントン州における茶の木の栽培

農務省からの支援により、Mount Vernon Northwestern Washington Research and Extension Center がスカジット・バリーで質の高い茶の木を育てることが可能かどうかを調査するプロジェクトが進められている。2019年にハワイとアラバマで茶を刈り、現在も20の原木が残っている。アメリカ西部ではオレゴン州の Minto Island Tea が唯一の商業茶畑である。アメリカで消費されているお茶の大部分は輸入品であるが、栽培が成功した場合、良質な高級茶は商業的利益を生み出す可能性がある。([24日付けシアトルタイムズ記事](#))

(8) その他 (ジェットロビジネス短信記事より)

- ・(5/6 付け) [米国への入国には搭乗1日前までの新型コロナ感染検査が必要](#)
- ・(5/2 付け) [米メタ、メタバースを体験できる初の実店舗「メタストア」を開設](#)
- ・(5/2 付け) [米GDP成長率、第1四半期は前期比マイナス1.4%、急減速も消費などは堅調](#)
- ・(5/2 付け) [バイデン米政権、「未来のインターネットに関する宣言」発表、60カ国・地域が賛同](#)
- ・(5/2 付け) [バイデン米大統領、議会に330億ドルのウクライナ支援予算を要請](#)

2. COVID-19 感染状況・ワクチン関連情報

(1) ジョンソン・エンド・ジョンソン社のワクチン FDA による使用制限

FDA は 5 日、ジョンソン・エンド・ジョンソン (J&J) 社のワクチンについて、J&J でなければ予防接種を受けないままにいるという人は別として、18 歳以上で別のワクチンを受けることができるのであれば、J&J ワクチンによる稀ではあるが死に至る恐れのある血栓症候群が起きるリスクの方が恩恵を上回るとし、新たな規制を課した。

FDA は、他のワクチンが入手できないあるいは臨床的に適切でない、または異なるワクチンを接種することを拒否したなどの理由に限り、J&J のワクチンを接種すべきだとしている。[\(5 日付けシアトルタイムズ記事\)](#)

(2) 米モデルナ、6 カ月以上 6 歳未満の子供への新型コロナワクチン緊急使用承認を FDA に申請

米国製薬大手モデルナは 4 月 28 日、米国食品医薬品局 (FDA) に対し、6 カ月以上 2 歳未満と、2 歳以上 6 歳未満の年齢層に対し、同社製の新型コロナウイルスのワクチン接種を可能にするよう、緊急使用承認 (EUA) を求める申請をしたと[発表](#)した。現在、同社製の新型コロナワクチンの接種が承認されている対象年齢は 18 歳以上となっている。[\(2 日付けジェットロビジネス短信\)](#)

(3) 無料の新型コロナウirus検査キット 現在も申し込み可能

州及び連邦が無料で配布している新型コロナウイルス簡易検査キットにつき、現在もオンラインから申し込みが可能となっている。ワシントン州は 330 万個の在庫があり、在庫がなくなるまで一世帯につき毎月 2 つまで注文することができる。連邦でも、現在 2 回目の申し込みを受け付けている。[\(ワシントン州保健局の申し込みサイト\)](#) [\(連邦政府の申し込みサイト\)](#)

(4) 良い換気状態が屋内での新型コロナウイルス感染を減少させる鍵

空気の清浄と循環システムにより、屋内でウィルスが一箇所に集中する状況を避け、結果的に新型コロナウイルスの感染を減らすとされている。連邦政府は屋内の空気換気を改善するローカルの事業に 18 億ドルを支出しており、これによりキング郡は 500 の建物に対して無料で査定を行い、8,000 近くの HEPA フィルターを提供した。[\(1 日付けシアトルタイムズ記事\)](#)
[\(キング郡 屋内における空気の質改善のためのガイドライン\)](#)

3. (5/6 更新) シアトルー日本間のフライト情報

※状況により変更となる場合がありますのでご注意ください。最新状況の確認やご利用の際は、各航空会社へ直接お問い合わせください。

○ **全日空**： 1月15日（土）から日本の発着先を羽田空港から成田空港へと変更。3月27日以降、週2便（木曜日、土曜日発着）で運航中。6月からは週4便で運航することを発表。詳しくは下記HPを参照。

<https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/notice200206/#4>

2022年3月27日～2022年5月31日の運航予定

運航曜日	便名	出発	到着
木・土	NH178	成田発	シアトル着
木・土	NH177	シアトル発	成田着（翌日着）

2022年6月1日～の運航予定

運航曜日	便名	出発	到着
<u>火・木・土・日</u>	NH178	成田発	シアトル着
<u>火・木・土・日</u>	NH177	シアトル発	成田着（翌日着）

○ **日本航空**： 5月31日まで週4便にて運航中。6月1日以降は毎日運航予定。詳しくは下記HPを参照。

<https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/other/flysafe/flights-service/#inter>

2021年7月1日～2022年5月31日の運航予定

運航曜日	便名	出発	到着
月・火・木・土	JL068	成田発	シアトル着
月・火・木・土	JL067	シアトル発	成田着（翌日着）

○ **デルタ航空**： 週5便（火・木・金・土・日）で運航中。

4. 総領事館からのお知らせ

(1) **ファストトラック（入国時の検疫手続の一部の事前登録）の申請締め切り時間の変更**

羽田空港、成田国際空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港で運用が行われているファストトラック（入国時の検疫手続の一部の事前登録）について、これまでは「日本到着予定

時刻の 16 時間前」までに事前審査の申請を行っていただく必要がありましたが、2022 年 4 月 27 日（日本時間午前 10 時）以降、事前審査の締め切り時間が「日本到着予定時刻の 6 時間前」に短縮されました。

この時間短縮措置により、さらに多くの渡航者がファストトラックをご利用いただけるようになります。

詳細は[こちら](#)をご確認ください。

（2）（再掲）当館における査証申請及び受取り方法の変更

新型コロナ・パンデミック以降、当館での査証申請は E メールでのみ受け付けていましたが、日本の水際措置の部分的な緩和に伴い、現在は非常に多くの申請が寄せられています。ついては 2022 年 5 月 9 日から次に当館からお知らせする迄の間、郵送また当館事務所に設置されたドロップオフ・ボックスへの投函でのみで査証申請を受け付けることとします。同日以降、E メールでの査証申請は受理できません。原則、査証の受取りも返信用封筒を用いた郵送となります。申請方法等の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

（3）（再掲）当館でのパスポート申請について

当館での旅券申請取扱い件数が非常に多くなっており、申請予約システムでの予約が取りづらいため、問い合わせ電話が繋がらない等のご意見を頂戴しております。旅券の残存有効期間が切迫している場合には、予約状況にかかわらず個別の対応も行なっておりますので、当館領事担当 E メールアカウント (consul@se.mofa.go.jp) までご相談下さい。また、E メールがご使用できず、お問い合わせのお電話が担当者に繋がらない場合等でも、ボイスメッセージを残して頂いた場合には、必ず担当者から折り返しのご連絡をさせていただきます。

5. イベント情報

（1）5/23 シアトル日本商工会主催 安全対策ウェビナー

シアトル日本商工会の主催により、当館の警備・邦人援護担当領事が、日常生活で知っておくべき安全対策についてお話するウェビナーを開催いたします。

日 時： 5 月 23 日（月）午後 6 時～7 時（シアトル時間）

概 要：

1. 当地で起こり得る災害
2. 平素からの備え
3. 総領事館の行う安否確認について

申 込： お申込リンクは[こちら](#)

(2) (再掲) 5/14 JCCCW 主催「こどもの日 (Kodomo no Hi)

日本の祝日であるこどもの日に合わせて開催される無料の子供向けイベント。「もったいない」をテーマに、ものを大事に無駄なく使うことを学べる楽しい企画やパフォーマンス、紙芝居などを予定。当館からも体験プログラムを提供予定。

【日時】 5月14日(土) | 午前11時～午後5時

【場所】 ワシントン州日本文化会館 (JCCCW), 1414 S Weller St., Seattle, WA 98144

【参加登録】 不要

イベントホームページは[こちら](#)。

(3) (再掲) 5/20 JCCCW 主催「日系二世に聞いてみよう～ミニドカ強制収容所の元・被収容者・時田章吉さん」

JCCCW 主催による日系の歴史を学ぶ「スピーカーシリーズ」、5月は日系二世・時田章吉(トキタ・ショウキチ)氏を招いて日本語で実施。時田氏は幼少時代をシアトル日本町、戦時中はアイダホ州南部ハントにあるミニドカ(またはミネドカ)強制収容所で過ごし、収容所閉鎖後は再びシアトルに戻られた。戦後は家族とともに生活を立て直し、今もシアトルに居住。戦前・戦中・戦後の日系社会の動向について日系二世の方にお話を伺える貴重な機会。時田氏へのご質問はこちらからオンラインで5月7日(土)まで、参加登録は5月19日まで受付中。5月20日のオンラインイベントで集まった質問に時田氏が答える。またイベント終盤には、参加者が直接質問できる時間も予定。

【日時】 5月20日(金)午後7時～午後8時(PT, 太平洋時間)

【場所】 Zoom(サインインが必要です) | 参加無料・要事前登録

【参加登録】 [こちら](#)から。

【言語】 日本語

(4) (再掲) 5/22、6/5 ライトハウス主催「日本の大学・専門学校 進学フェア 2022 春(オンライン)」

ライトハウス主催により、恒例の日本の大学・専門学校進学フェア 2022 春が5月22日及び6月5日にオンラインにて開催されます。

開催日時: 5月22日(日)、6月5日(日) ※アメリカ西海岸時間

開催方法: オンライン会議ツール (Zoom) を使ったライブ配信

※ZoomのURLはお申込み後、後日Eメールにてお知らせいたします。

登録: 参加は無料だが、事前登録が必要。

詳細や登録は[こちら](#)から。

(5) (再掲) 5/30～、JETRO サンフランシスコ事務所主催 Sake & Food for Americans ウェビナー・シリーズ

JETRO サンフランシスコ事務所の主催により、5月以降、月1回程度のペースで、米国での食事にあう日本酒を紹介するウェビナーが開催されます。日本酒の専門家が毎回、特定の日本酒を取り上げ、日常生活でおなじみのスナックとともに、特定の日本酒を紹介するもの。

5月30日に実施される第1回目では、以下の日本酒及びスナックを使って、その組み合わせについて説明される予定。参加は無料ですが、参加者はイベントの前に、自分で日本酒及びおつまみを用意する必要があります。

1) 日本酒

- ・ 剣菱 本醸造
- ・ 玉川 赤ラベル

※イベント参加者は、販売コード BEAU2BREW を使用して[オンライン](#)でこれら2つの日本酒を割引価格で注文可能。

2) おつまみ

グリーンオリーブ、ミートスティック、スモークミートアンドチーズ、フライドチキン、ハンバーガー、焼き鳥、焼き魚、バースナック/ポテトチップス/ピーナッツ、ピザ、タコス、ミートボールサンドイッチ、ポークチョップ、ケールチップス。

3) 講師： [ブリュー・ティムケン氏](#)

同イベントの Facebook ページは[こちら](#)。

編集後記：

先日、ワシントン大学が提供する [Global Innovation Exchange \(GIX\)](#) という、学生さんが企業と共同で事業開発を行う大学院プログラムの施設を訪問する機会を頂きました。概要説明の後に、学生さんのビジネスアイデアのピッチも拝聴したのですが、グローバル市場を意識しつつも、アーリーアダプターの設定もきちんとされていて感心しました。GIX では、ワシントン州天然資源局などの政府機関と社会課題に取り組む協業プロジェクトもやられているようで、公務員としては何かしらヒントを得たような気がしました。

(参考：在シアトル日本国総領事館)

- ・ [新型コロナウイルス関連情報](#) (全般的な情報)

- ・ [日本へ入国・帰国するすべての方へ ～日本の水際対策措置～](#) (3月2日更新)
- ・ [2022年経済再開・新型コロナウイルス関係情報](#) (3月1日更新)
- ・ [新型コロナウイルス危機の影響を受ける中小企業・NPO・労働者への支援策一覧](#) (12月15日更新)
- ・ [州保健局 新型コロナウイルス日本語ページ](#)

(注意点)

本情報は、ワシントン州の主要な行政機関や団体のウェブサイトの情報をもとに、その時点における当地日系企業・NPO・邦人労働者に役立つ情報を、皆様のご参考として迅速に日本語で届ける目的で発信しているものです。法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。実際の申請等に当たっては、該当するウェブサイトで最新の情報や詳細を直接ご確認ください。なお、当館として個別企業の申請書作成等の支援は出来かねますのでご容赦ください。

(免責)

本メール又は当館情報に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。

(領事メールについて)

当館では外国に3ヶ月滞在される在留邦人に対し、旅券法に基づく在留届、帰国・転出等の届出をお願いしております。本届けでメールアドレスをご登録いただいた方に対して、コロナに関する情報や各種安全情報を領事メールにてお送りしておりますほか、緊急時の安否確認を当館から行うためにも必要なものですので是非ご協力ください。詳細はこちらをご覧ください。https://www.seattle.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/zairyu.html

(Unsubscribe:本日系企業支援関係メールについて)

当館が把握しておりますワシントン州日系企業にお送りしております。今後、本メールが不要な方はその旨ご返信をお願いいたします。

Consulate-General of Japan in Seattle

701 Pike Street, Suite 1000

Seattle, WA 98101

206-682-9107